

土屋恵三郎新理事長就任のお知らせ

2022年5月23日、公益財団法人世界こども財団の土屋恵三郎専務理事が、新理事長に就任しました。新理事長のもと、さらに世界のこどもたちや青少年の未来に貢献すべく、職員一同尽力して参ります。

土屋恵三郎理事長より就任ご挨拶

この度、世界こども財団の新理事長に就任いたしました。世界こども財団は、創設者の故・宮澤保夫前理事長が未来を担う若者への願いを込めて活動を続けてきた団体です。

「こどもたちは未来の財産。あらゆるこどもたちをしっかりと育てなければ未来はない」という宮澤前理事長の想いと、それを実践する行動力に深く共鳴し、私もこれまで微力ながらお手伝いをしてきました。その想いと活

動を未来へ繋ぎ、さらに支援を広げ、こどもたちの笑顔に出会えるよう、邁進いたします。

世界こども財団の活動は、皆様の温かいご支援で成り立っております。

今後ともご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

公益財団法人 世界こども財団
理事長 土屋 恵三郎



2年半ぶり 再訪 ブータン王国



はじまり

遡ること5年前、2017年にブータン王国オリンピック委員会（BOC）と、神奈川県における事前キャンプに関する協定が締結されました。締結以後、世界こども財団（FGC）を窓口にして、星槎グループが基軸となり、ブータン王国（ブータン）のオリンピック・アスリートの強化支援、スポーツ奨学留学生の受け入れ、ブータンパラリンピック委員会（BPC）の設立、パラアスリートの発掘、そしてパラアスリート選手と指導者の育成を支援してきました。そして、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会（TOKYO2020）への出場を叶えるため、多彩なサポート支援プログラムを実施してきました。

パンデミックを乗り越えて

2019年12月、いよいよTOKYO2020が目前と迫った矢先、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が中国・武漢で確認・報告されました。COVID-19は、以降、世界に拡がりパンデミックを引き起こし、TOKYO2020は延期、FGCのブータン訪問は2019年12月で留まらざるを得なくなりました。

FGCがBOCとBPCとで協働で進めてきたこの活動は、TOKYO2020で終わることなく、今後の一つの契機として、さらに未来へと続く支援と交流を目的としています。コロナ禍の中でも、相手のニーズに応えられるよう、そしてお互いの



54年前のパロ国際空港



現在のパロ国際空港

信頼と友情関係の構築を続けるために、現地との協議を継続的に行いました。現地への訪問も諦めることなく、できるタイミングをずっと伺ってきました。

ブータンは、2020年4月、外国からの入国者をゼロとする観光客入国制限、その後、無期限延長の発表をしました。待つこと2年、漸く今年4月から観光客の受け入れが再開されました。隔離期間も段階的に短くなり、5月から政府指定ホテルで5日間、ワクチンを接種していること、入出国時にPCR検査を受け結果が陰性であることなど、幾つかの条件はありますが、今では国外からの観光客も入国できるようになりました。

ブータン再訪、未来に向かって

3月23日に前理事長の宮澤保夫前理事長が逝去し、ブータンからは沢山の弔電メッセージによるお悔やみの言葉をいただいていた。5月連休が明けて間もなく、FGCは担当職員をブータンへ派遣しました。故人が愛しやまないもう一つの母国ブータンへ、最も丁寧な方法でお礼とお返しをすると共に誠意を尽くすために、職員派遣を敢行しました。

ブータンは、訃報を受けて直ぐ、BOC、BPC、ロイヤル・ティンブー・カレッジ（RTC）、各スポーツ競技連盟や協会関係者、そして数えきれないくらい沢山の方が故人を惜しみ、感謝の想いを込め、ティンブー、パロ、プンツォリン等の至る寺院で108個のバターランプを灯し、お祈りをしてくださいました。ブータンでは、哀悼の気持ちや誰かを偲ぶとき、植物性のバターから作られたバターランプの灯明を灯してお祈りをします。赤い炎で溶けたバターと器はやわらかいオレンジ色に染まり周囲を灯し出します。

パロでの隔離、そしてPCR検査結果も陰性と出た後、首都・ティンブーにあるBOCとBPCオフィスへ向かいました。パロとティンブーの間にはのどかな田園風景が広がり、ブータンの伝統的な様式を残す家屋が点在する絶景は、2年半前と変わっていません。1時間後、首都・ティンブーに入るゲートを通り抜けた後、中心市街地に位置するチャンリミタン・スタジアムへ。BOCとBPCオフィスは、そのスタジアムの一角にあります。3階奥にある事務局長執務室をノックすると、全職員が到着を待ってくださっていました。執務室の棚に、ブータン民族衣装を着ている宮澤前理事長の写真が飾られていました。

BOC執務室では、誰もが未だ信じられない、現実を受け止められないという、言葉には表し難い重い空気が広がっていました。喪失感と心にぽっかり穴が開いたような空虚な気持ちが生まれており、言葉にならないものが誰の中にもあるのが分かりました。2年半ぶりの訪問で、宮澤前理事長への敬意と感謝はもちろんのこと、何よりもその意思と意思を受け継ぐことを約束し、前へ進めて行くことを話してくれました。ブータンの仲間との語らいの中で、全員が星槎との強い絆を実感すると共に、宮澤前理事長が生前話していたブータンスポーツの未来を具現化することを約束してくれました。

後日、ジゲル・ウゲン・ワンチュク王弟殿下／BOC会長とユフェルマ・チョデン・ワンチュク王女／BPC会長に表敬訪問を行い、それぞれご挨拶とご報告をさせていただきました。ジゲル王弟殿下とユフェルマ王女共に、個別に30分以上のお時間をいただき、出逢った頃のこと、ここまでの道のりを思い出しながら宮澤前理事長へのお悔みの言葉と感謝の言葉、故人がお二人にとって言葉ではとても表せない、かけがえのない存在だったことなど、お話をしてくださいました。また、お二人から、宮澤前理事長は「ブータン・スポーツの父である」とのお言葉をいただきました。ジゲル王弟殿下とユフェルマ王女とお二人共に、今後の協働においても、FGCと星槎グループと一緒に歩んで是非いきたいと仰っていただきました。

今回のブータン滞在中、RTCのテンジン・ヨンテン理事長、ツェワン・タンディン学長、サミール・パテル学部長ともお逢いすることができました。RTCとしても、宮澤前理事長の意志と意思を受け継ぐこと、これからもFGCと星槎グループと協働していきたいと仰っていただきました。



RTC-SEISA フィットネスセンター



RTC サッカー場



オリンピックのカルマ選手（左）と
星槎国際高校湘南卒業生のソナム選手（右）

他にも帰国直前まで本当に沢山の方々とお会いし、そして、お一人おひとりが時間を取ってくださり、ご挨拶とご報告をさせていただきました。皆さん全員が口を揃えて、宮澤前理事長に感謝を述べられていること、これからも星槎との繋がりは不変であること、故人の想いと願いを実現するために、未来に向けて、スポーツを超えて、またスポーツを通じて、ブータンでも笑顔の連鎖を広げることが約束してくださいました。



エリトリア国からスポーツ奨学生が来日しました!



新型コロナウイルスの影響により、約2年間来日が延期されていたエリトリア国の留学生6名が5月6日に来日しました。

星槎国際高校湘南に在籍するセバさん、アリアムさん、セナイさん、ビニウムさんは、陸上競技部に所属します。エセイさんとナズラウィさんは、バスケットボール部に所属します。これまで、エリトリア、ブータン、ミャンマーの3カ国から留学生を受け入れてきましたが、バスケットボールでの受け入れは今回が初となります。全国の星槎に新しい風を吹き込んでくれることを期待しています。

そんなエセイさんとナズラウィさんは、来日して間もなく「令和4年度高校総体バスケットボール競技神奈川県西支部予選」に出場しました。両選手のポテンシャルの高さでチームの勝利に

貢献、圧倒的な存在感を示してくれました。

陸上競技部のセバさん、アリアムさん、セナイさん、ビニウムさんも星槎大学陸上部所属アコモデーションコースのデジェンさん（エリトリア）やFGC職員ケセテさん（エリトリア）のサポートを受けて、日々練習に汗を流しています。

今回来日した6名のエリトリア留学生は、本年度3月卒業予定です。本プログラムを通じて、星槎、そして日本で多くのことを吸収し、日本とエリトリア両国を繋ぐ「親善大使」に、そしてエリトリアに限らず、次世代の若者に夢や希望を与える存在になってもらうことが、私たちの願いです。今後の彼らの活躍にご注目ください。

陸上

セバ・アマール・セイード Sebah Amar Seid

種目：中距離 / 1500m - 3000m

●コメント●勉強とスポーツでトップを目指し努力しています。特に陸上では1500mと3000mで自己ベストを出したいです。また、日本語能力試験のN4とN3を合格するように頑張ります。将来はプロアスリートとしてこの先々のオリンピックや世界選手権大会で活躍し自分の夢を叶えていきたいです。



ビニウム・テスファイ・ゼラツィオン Biniam Tesfay Zeratsion

種目：長距離 / 5000m - 10000m

●コメント●日本語を覚えることを第一に、陸上では早く怪我を治して大会や記録会で走りたいです。将来はプロスポーツ選手になり、自分の名前と国を世界中に広めたいと思います。そして、大学で学び医者になり、母国に奉仕する為に最善を尽くすつもりです。



セナイ・テスファリデット・メハリ Senay Tesfalidet Mehari

種目：中距離 / 1500m - 3000m

●コメント●今年は大学進学に向け準備を進めたいです。陸上では5000mで13分05秒を切るよう日々の練習にしっかりと取り組みます。将来はエリトリア代表として様々な大会に出場し、自分の名前・国を世界中に知ってもらいたいです。



アリアム・パウロス・ネガ Ariam Paulos Nega

種目：長距離・中距離 / 1500m - 3000m - 5000m

●コメント●日本語を早く習得できるよう日々勉強を頑張っています。陸上では、早く怪我を治して大会や記録会に参加し、良い結果を残したいです。将来はエリトリアを代表するアスリートになり活躍したいです。



バスケットボール

ナズラウィ・サミエル・ゲブレズィガベル Nazrawi Samiel Ghebreszihiher

ポジション：C（センター）

●コメント●日本語能力試験ではN4からそれ以上の級の合格を目指し頑張ります。バスケットでは、目の前の大会に全力を注ぎ、チームの勝利に貢献したいと思います。高校卒業後は大学進学を希望しています。優しく、親切な日本人と一緒に生活を送りたいです。



エセイ・ゼレヤコブ・ゲブレスラシエ Esey Zereyacob Ghebreslasie

ポジション：C（センター）

●コメント●今年の目標は、高校の勉強とスポーツを最高のレベルで終え、次のレベル（大学）に進むよう頑張ることです。将来はプロバスケットボール選手になるとともにビジネス経済学の専門家になりたいです。



クレジットカード寄付決済を開始しました!

世界こども財団は、国内最大級の寄付プラットフォーム「Syncable (シンカブル)」に登録しました。



Syncable (シンカブル) は、個人と非営利団体を繋ぐソーシャルアクションを促す寄付プラットフォームサービスとなっています。

これまで寄付をしたことがない方でも寄付をしやすくなりました。各種クレジットカードでの決済やアマゾンペイでのお支払いが可能となりました。

今まで通りの銀行振込もお選びいただけます。ご寄付の金額も 500 円から設定することができます。1 回のみのご寄付、または、毎月の継続寄付をお選びいただくことができるようになります。



着なくなった洋服や眠っているブランド品を支援へつなげてみませんか?

寄付プラットフォーム「シンカブル (Syncable)」とブランド品の買取サービス「ブランドピア」との共同運営サービス「ブランドプレッジ (Brand Pledge)」とも連携することになりました。

- 寄付はしたいけど、手間をかけたくない。送料は負担したくない…
- ブランドプレッジからの寄付は、送られてきたダンボールに詰めて送るだけとなっています。
- 洋服やバッグ、アクセサリ等送料をかけずに気軽に寄付ができます。
- 査定金額から希望の金額で寄付申請を行うことができます。
- また、多少の汚れや傷があっても、使用するのに難がない程度であれば問題ありません。
- 査定金額にご満足いただけない場合は、1 アイテムから送料無料で返送手続きも可能となっています。

● 尚、一流のブランド品だけではなく、カジュアルなブランド品まで取り扱いは 7000 件以上あります。

● 本サービスをご利用の際は、寄付先を「世界こども財団 (FGC)」とご指定ください!!



シンカブル QR コード



ブランドプレッジ QR コード



方法は簡単です

送られてくる段ボールにブランド品を詰めて返送します。その査定金額が寄付金として振り込まれます。皆様からのご寄付は手数料なしで全額そのまま振り込まれます。

皆様からのご支援とご協力を心よりお待ちしております!



ウクライナ緊急支援金のご協力ありがとうございます!

～避難民の方へ日本語学習の支援を実施～

前号の FGC ニュース 29 号で「ウクライナ緊急支援のお願い」の記事を掲載いたしました。皆様からの支援金のご協力をありがとうございました。世界こども財団では、5 月よりウクライナからの避難民の方が日本での生活において出てくる言葉や文化の壁を取り除き、日本の生活に慣れていくための支援の一貫として、日本語学習支援を実施しました。

プライバシーの観点からお名前や写真はご紹介できませんが、皆様から頂いた支援金の一部を、教科書代、文房具代などにあてさせていただきました。ありがとうございます。引き続き支援金のご協力をお願いいたします。

ウクライナからの避難民の方を対象とした世界こども財団の日本語クラス受講にご興味がある方・団体様は、fgc@fgc.or.jp までご連絡ください。

また、日本語指導者のボランティア登録も開始いたします。避難民や世界こども財団で受け入れている留学生の日本語指導にご協力をいただける方からののお問合せもお待ちしております。



Twitterを開設しました



Facebook、Instagram に続いて、この度世界こども財団は Twitter を開設しました!世界中のこどもたちに将来の夢と希望を! Twitter では世界こども財団の活動やミッション、エリトリア、ブータンから受け入れている留学生の様子などをつぶやいています。皆様のフォローお待ちしております♪



2022 年 7 月発行

公益財団法人
世界こども財団

〒259-0111 神奈川県中郡大磯町国府本郷 1805-2 (星槎グループ内)
TEL. 0463-74-5359 FAX. 0463-74-5374 E-mail: fgc@fgc.or.jp
ホームページ: <http://www.fgc.or.jp> Facebook: 「世界こども財団」で検索!
印刷: 株式会社 Kurikindi Design 制作: 岡村直実 (JC ユニット)

